

令和6年度使用小学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 国語（書写）

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	国語（書写）
----	--------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	書写 106 206 306 406 506 606	新編 あたらしい しよしゃ一 新編 新しい しよしゃ二 新編 新しい書写 三 新編 新しい書写 四 新編 新しい書写 五 新編 新しい書写 六	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するよう内容が構成されている。 全学年を通して、国語教科書と連動した教材で構成されている。 2年の裏表紙に鉛筆のつくり方、3年の裏表紙に筆のつくり方、4年以上では文字へのおもいを掲載し、SDGsの観点から学習用具の大切さなどにふれている。 動画などを利用して、姿勢や用具の持ち方を正しく理解することができ、左利きの場合も同様に示されている。 とめ、はね、はらい、縦画、横画など点画の種類の特徴を学び、整った文字を学べるよう、系統性のとれた配列となっている。 半紙と同じ比率の手本が示されているため、漢字や仮名の大きさ、配列、用紙全体との関係に注意して、形を整えて正しく書くことができる。 2年以上の「書写のかぎ」として示すポイントは、紙面右下に掲載されている。 書写での学びを他教科や学校生活に生かすことのできる教材が、各学年に設けられている。 文字の大きさのちがいや目的に応じた筆記具を選択させることで、情報を効果的に伝える工夫がなされている。 児童の多様性に対応するために、ユニバーサルデザインを用いた配慮がされている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教 出	1 7	書写 107 207 307 407 507 607	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 四年 五年 六年	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するよう内容が構成されている。 ・全学年を通して、国語教科書と連動した教材で構成されている。 ・学びをいかした新聞づくり等の内容で、SDGsや災害について取り扱いがあるが、身近でできることについては記載がない。 ・正しい姿勢・正しい鉛筆の持ち方の定着を図るため、あいことばを用いてわかりやすく示している。 ・動画などを利用して、姿勢や用具の持ち方を正しく理解することができる。左利きの場合の写真等が少ない。 ・アニメーションや動画解説、運筆動画など必要な解説の二次元コードが各ページについており、自分で確認できる構成となっている。 ・二次元コードの動画には、字幕のみで音声の入っていないものもある。 ・ポイントが拡大され、色の工夫があるため、点画の書き方や文字の形に注意して、筆順に従って丁寧に書くことができる。 ・自分の課題に合った学び方を選択できるよう「練習用紙の作り方」が示されている。 ・「ここが大切」として示すポイントは、誌面によって掲載場所が異なる。 ・「レッツ・トライ」のコーナーでは、書写の学習内容を他教科や日常生活で生かす工夫がされている。 ・文字の大きさのちがいや目的に応じた筆記具を選択させることで、情報を効果的に伝える工夫がなされている。 ・児童の多様性に対応するために、ユニバーサルデザインの観点から、書体等の工夫はある。 ・文字の色分けが少なく、書き順の理解への支援としてはやや少ない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
光 村	3 8	書写 108 208 308 408 508 608	しょしゃ 一ねん しょしゃ 二年 書写 三年 四年 五年 六年	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成するよう内容が構成されている。 ・全学年を通して、国語教科書と連動した教材で構成されている。 ・「学習の進め方」を「考えよう→確かめよう→生かそう」と示しており、児童の主体的な学びを支援するよう工夫されている。 ・毛筆スタートブックは、情報がわかりやすく整理されていて見やすい。 ・3年以上でSDG sを扱っており、4年には「SDG sブック」がある。 ・動画などを利用して、姿勢や用具の持ち方を正しく理解することができる。また、左利きの場合の持ち方は、動画で選んで確認することができる。 ・デジタルコンテンツが充実しており、筆使いの解説動画はわかりやすい。 ・とめ、はね、はらい、縦画、横画など点画の種類の特性を学び、整った文字を学べるよう、系統性のとれた配列となっている。 ・半紙と同じ比率の手本が示されているため、漢字や仮名の大きさ、配列、用紙全体との関係に注意して、形を整えて正しく書くことができる。 ・文字の筆順を唱えながら書くことができ、児童が興味をもって取り組むことができる。 ・「たいせつ」として示すポイントは、紙面下部の同じ場所に掲載されている。 ・書写の学びを日々の生活に生かせるよう「書写広げたい」が設けられ、学習の進め方も示されている。 ・文字の大きさのちがいや目的に応じた筆記具を選択させることで、情報を効果的に伝える工夫がなされている。 ・児童の多様性に対応するために、ユニバーサルデザインを用いた配慮がされている。文字の色使いや書体への配慮がされ、児童が学習に取り組みやすい。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

国語（書写）

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		東書	教出	光村
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている国語科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	○	○
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、ICT機器や二次元コードから参照できるデジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	○	○	○
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、児童が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	○	◎
内容	1	姿勢や筆記具の持ち方を正しく理解できる内容となっているか。	◎	○	◎
	2	点画の書き方や文字の形に注意して、筆順に従って丁寧に書くことができる内容となっているか。	○	○	○
	3	漢字や仮名の大きさ、配列、用紙全体との関係に注意して、形を整えて正しく書くことができる工夫がなされているか。	○	○	○
	4	目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる工夫がなされているか。	○	○	○
	5	日常生活と関連付けた内容となっているか。	○	○	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○
	2	児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	○	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	△	○